

日本写真における身体とナショナリズムへのまなざし

(要旨)

黄 士 誠*

1937年の日中戦争以降、台頭しつつあった前衛写真のモダニズムとリアリズムは、格段に強化された情報管理政策によって、開花する間もなく抑圧された。写真はプロパガンダの道具としての役割のみ要求されることになり、帝国日本の敗戦までそれは続いた。

本研究は、1930年代に刊行された写真雑誌『フォトタイムス』と『写真週報』において、国家宣伝の一部と見なされた予防、防諜、監視という主題において、1930年代に眼の図像がどのように変化したのかを分析するものである。日本における眼の表現を単に神秘主義やシュルレアリスムに関連するものだけでなく、国防的プロパガンダの表象として位置づけたい。

民間防衛の基本用品となったガスマスクは、義肢と同様に体の一部を補うものと考えられ、義眼さえも生産されていた。こうしたパーツが身体から遊離し、猟奇的な記号となった可能性を発表者は指摘したい。1930年代における眼の図像は、フェティシズム、神秘主義、予防、防諜などの表現を含め、前衛や監視の象徴と繋がっている。これらのイメージは「エロ・グロ・ナンセンス」の文脈と連なり、分断される身体の官能性を明確に強調した。また、当時のフォトジャーナリズム雑誌によく登場した眼科看板、目薬キャンペーン、防諜ポスターの図像は国民の心理状態を反映していたと推測できる。

昭和初期の日本では、前衛芸術の受容が始まり、

眼のイメージがよく表象されるようになったが、1930年代前半、戦力や労働力の確保を図るために、国民に対する病氣予防の対策が立てられ、眼科の医療行政が構築された。発表の最後には、全面戦争に巻き込まれた日本で、眼の図像が本来もっていたアヴァンギャルドや健康・医療という意味が失われ、完全に防諜の象徴に転化したことを提示する。

参考文献

雑誌

- 『フォトタイムス』1巻1号—17巻12号、1924年3月—1940年12月（月刊、オリエンタル写真工業／フォトタイムス社）
『アサヒカメラ』1巻1号—33巻193号、1926年4月—1942年4月（月刊、朝日新聞社・戦前）
『写真週報』1号—352号、1938年2月—1945年7月（週刊、内閣情報部）

単行本・全集

- 飯沢耕太郎『都市の視線：日本の写真1920—30年代』創元社、1989年。
大谷省吾『激動期のアヴァンギャルド：シュルレアリスムと日本の絵画1928—1953』国書刊行会、2016年。
五十殿利治『非常時のモダニズム：1930年代帝国日本の美術』東京大学出版会、2017年。
金子隆一〔ほか〕『日本近代写真の成立：関東大震災から真珠湾まで1923—1941年』青弓社、1987年。
島村輝編、和田博文監修『コレクション・モダン都市文化 第15巻 エロ・グロ・ナンセンス』ゆまに書房、2005年。
白山真理『「報道写真」と戦争：1930—1960』吉川弘文館、2014年。
ジョナサン・クレーリー著、岡田温司監訳、石谷治寛、

*SOASロンドン大学・院生

- 大木美智子、橋本梓訳『知覚の宙吊り—注意、スベクタクル、近代文化』平凡社、2005年。
- ジョルジュ・バタイユ著、ハンス・ベルメール画、生田耕作訳『眼球譚／マダム・エドワルダ』白水社、1988年。
- タイモン・スクリーチ著、田中優子、高山宏訳『大江戸視覚革命—十八世紀日本の西洋科学と民衆文化』作品社、1998年。
- 多木浩二『眼の隠喩：視線の現象学』青土社、1982年。
- 北澤憲昭『眼の神殿：「美術」受容史ノート』美術出版社、1989年。
- ミシェル・フォーコー著、田村俣訳『監獄の誕生：監視と処罰』新潮社、1977年。
- 玉井清編著『戦時日本の国民生活 『写真週報』とその時代（上）』慶應義塾大学出版会、2017年。
- 玉井清編著『戦時日本の国防・対外意識 『写真週報』とその時代（下）』慶應義塾大学出版会、2017年。
- 日本写真家協会編『日本写真史：1840—1945』平凡社、1971年。
- Kaneko Ryūichi, Manfred Heiting. *The Japanese Photobook, 1912-1990*. Göttingen: Steidl, 2017.
- Silverberg, Miriam. *Erotic Grotesque Nonsense: The Mass Culture of Japanese Modern Times*. Berkeley: University of California Press, 2009.

展覧会カタログ

- 神奈川県立近代美術館編『日本の写真1930年代展』神奈川県立近代美術館、1988年。
- 練馬区立美術館編『鬨光 青春の光と闇展』練馬区立美術館、広島県立美術館、1988年。
- 東京都写真美術館編『モダン東京狂詩曲展』東京都文化振興会、1993年。
- 東京都写真美術館編『日本近代写真の成立と展開』東京都文化振興会、1995年。
- 神奈川県立近代美術館学芸課編『モボ・モガ展：1910—1935』神奈川県立近代美術館、1998年。
- Matsumoto Norihiko, Kaneko Ryūichi, Deborah Klochko. *Modern photography in Japan 1915-1940*. San Francisco: Friends of Photography, 2001.
- Tucker, Anne Wilkes, Dana Friis-Hansen, Kaneko Ryūichi, Takeba Joe. *The History of Japanese Photography*. essays by Iizawa Kōtarō and Kinoshita Naoyuki; ed. and trans. John Junkerman. New Haven: Yale University Press in association with the Museum of Fine Arts, Houston, 2003.

雑誌・記事

- Crary, Jonathan. "Spectacle, Attention, Counter-

- Memory." *October* 50 (Fall 1989), pp. 96-107.
- Weisenfeld, Jennifer. "Gas Mask Parade: Japan's Anxious Modernism." *Modernism/modernity*, Volume 21, Number 1, January 2014, pp. 179-199.